



2026  
認知症月間 特別映画会

# 『調査屋 マオさんの恋文』

東京ドキュメンタリー映画祭 2019 グランプリ受賞作品

出演：佐藤真生さん 昭和14年生まれ  
終戦後、釜山から新潟へ帰還。  
大学卒業後、市場調査会社を起業。  
調査・企画・計画推進の最前線に身を置いた。

佐藤縫子さん 昭和5年生まれ  
調理師免許を取得し、料理教室を開く。  
仕事に明け暮れる夫と家庭を支えてきた。

プロデューサー・監督・撮影・編集：今井いおり



日時 9月23日(水・祝) 14:00~15:20 (開場 13:45)

場所 宮代町立図書館 ホール

町内循環バス 保健センター前(宮代町立図書館入口) 徒歩1分

## 作品紹介

マオさんは何でも「調査する」「記録する」そうして生きてきた。でも、妻との余生は上手くいかなかった。企業戦士として戦後を駆け抜けたマオさんと、その妻の日常を温かくユーモアを交えて描く、“ほのぼののドキュメンタリー映画”が誕生した。



映画公式サイト

## ストーリー

妻の縫子さんと余生を過ごしていたマオさんだったが、かつて料理教室を開いていた縫子さんが、料理をしなくなった。それは認知症のはじまりだった。

マオさんは特別養護老人ホームに入居している妻の元に、毎日欠かさず通い続け、日々変化する妻の言動を記録し続けていた。それは、調査屋の矜持と過去に苦勞をかけてきた妻への想いだった。